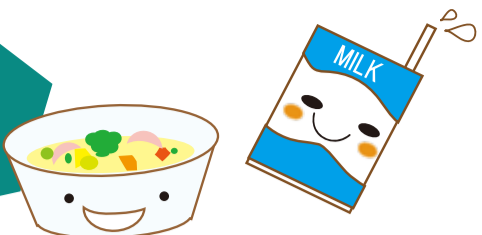


公約実現!



学校給食費無償化が前進



板橋区議会 第2回定例会(一般質問)

改選後初の定例会が行われました。6月8日の本会議で、小柳しげる区議、竹内愛区議が一般質問を行いました

介護保険料の引き下げを

「介護」の社会化を掲げスタートした介護保険制度は、開始から23年目を迎えました。当初から指摘されていた「保険あって介護なし」の実態を上げています。竹内愛区議は、2024年度から始まる第9期介護保険事業計画策定に向け、介護保険料の引き下げなどを求め、一般質問を行いました。介護保険料は、3年ごとの見直しにより毎回上がり続け、制度開始時の2・4倍もの額になっています。第8期事業計画の試算では、第9期の標準保険料額が7300円と見込まれており、今期より1260円もの引き上げとなっています。竹内愛区議は、「年金が減り、生活が苦しい」「保険料の負担が重く、引き下げてほしい」との区



竹内 愛
区議

のニーズ調査で寄せられた声を示し、35億円に上る準備基金の活用や公費を投入するなどし、保険料額を引き下げよう迫りました。区長は、「区独自の公費投入は考えていない」としつつ、基金は活用すると述べました。また、待機者が1000名を超えている特別養護老人ホームの整備について、区長は、「需要と供給の状況を分析し、必要量を整備する」と答えました。他に、東武練馬駅東口については、エレベーター設置の陳情採択を受けた区の取り組みを質しました。区長は「3月に東武鉄道に要望書を提出し、引き続き働きかけをしていく」と答えました。

都営三田線に女性専用車両を

コロナで減少した乗客が再び増加することに伴い、痴漢被害も増加しています。痴漢被害は鬱や自傷行為、過食、嘔吐といった後遺症など、人生をゆがめてしまうほど深刻な影響を及ぼします。減少させるためには、混雑の緩和と女性専用車両の導入が重要です。日本共産党は都民のみならずと力を合わせ、都営地下鉄全路線全編成への導入を求め続け、今年の1月に都営大江戸線への導入を実現させました。小柳しげる区議は、区長に対して、東京都交通局に女性専用車両の導入と、混雑時の8両編成の数を増やすことを求めるよう迫りました。区長は「機会を捉えて交通局に要望があることを伝える」と答弁しました。



小柳しげる
区議

米町19番地の都営地の活用は、地元町会、地域住民の意向を反映させた活用を求めた質問に対しては、米町集会所の代替施設については、地域住民の相互交流及び自主的な活動の場となるよう検討を進めると答えました。家庭部門の温室効果ガス削減のために、既存住宅の断熱化は大きな効果があると言われています。また断熱化をすれば温室効果ガスだけではなく、光熱費も削減できます。区としても賃貸住宅を含めた既存住宅の断熱化の補助を進めることを求めましたが、国や都の補助制度が充実しているの上乗せ補助する予定はないと答えました。多くの区民が気候危機対策に参加するためにも、区が上乗せし補助を行うことは必要です。

日本共産党板橋区議団ニュース

いたばし元気帳

2023年
夏号

●元気帳は無料です。お申込みは、各区議事務所へ

ご意見・ご要望をお寄せください

inf@jcp-itabashi.gr.jp

板橋 日本共産党

検索



発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
〒173-0004 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731